

はじめに

令和7年度の上伊那保健体育研究会の実践や研究の成果、歩みが、本年度の「高嶺」としてまとめられ、ここに発刊されました。

今年度、86名の会員で出発し、会員の皆さんの積極的な参加や協力により、活気ある上伊那体研の活動が展開されました。

7月3日に伊那小学校で研究部出発の会を行い、多くの先生方が参加され、熱い討論がなされました。村澤研究部長から今年度上伊那体研として力を入れていきたいことが話され、授業校の伊那小学校 坪木法子先生、伊那中学校 木下周先生から授業の構想やクラスの様子をお聞きし、研修会に向けての準備が行われました。

7月28日の辰野西小学校をお借りして行った夏期研修会には、エアコンのある体育館という快適な環境の中、大勢の会員にご参加いただき、伊那小学校、伊那中学校が取り組もうとしていた授業の領域・内容について、教材研究と授業づくりを進めていただきました。

講習会で学び、その後の授業に生かしていきたいという願いから、複数回の実技講習会を設定しました。夏期研修会の中では、授業研究にも役立つようにと午前中に、箕輪中学校 実原基成先生より器械運動を中心にいくつもの教授ポイント、ヒント、コツを教えてくださいました。また、今年度新たな形でスタートした上伊那教育研究会Ⅱの中での講座として、赤穂東小学校 池谷祐輔先生、東部中学校 垣内麻以先生より、小学校での陸上・体づくり運動、中学校での体づくり運動・ダンスを中心に、実技講習を行っていただき、2学期からの授業づくりに生かせることができました。お三方の先生、ありがとうございました。

11月14日の学習指導研究会当日には、児童生徒が主体的に運動に向かい、級友らと対話し、生き活きと活動する授業をご提供いただきました。感謝申し上げます。また、信州大学教育学部教授 岩田靖先生にもこれまでに引き続きご指導いただき、本会の研究に関するご講演をいただきました。研究内容や成果、岩田先生のご講演については、この高嶺に記載されています。会員のみなさまには、今後の授業づくりに生かせるよう、今一度目を通していただければ幸いです。

11月に教科等教育研究会のあり方について話し合う機会があり、関東甲信越ブロックの大会に参加された先生から「各都県ではこういった同好会のような組織が消滅しており、教師は何に参加し、何をみて聞いて学んでいくのか」とお聞きし、さて私たちの組織はどうだろうと考えさせられました。今年度上伊那体研では、10名程の会員の減はありましたが、教科の中では、随一の会員数を誇ります。私もかつては、多少の圧をかけられ、先輩教師から「こういう体研の活動があるから、行くときっと勉強になるよ」と言われて参加したことがあります。ですが、今年度の学習指導研究会での授業公開・研究会、研究推進、講演会、実技講習会から会員の熱意を感じ、参加したくなる研究会になっていると感じました。

変化の激しい時代ではありますが、現場の教師は、よりよい授業を追究し続け、アップデートする必要があります。上伊那体研の事業は、体育の授業を充実させ、児童生徒が体育を通して成長することができるのかを追究するものです。今後も、体研のもとに集い、研修を重ねていきましょう。私たちには、素敵な仲間がいます。

結びになりますが、本研究会をお支えいただいた上伊那教育会、信州大学教育学部教授 岩田靖先生、そして、上伊那保健体育研究会の役員をはじめ、会員のみなさまに心より感謝し、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

令和8年3月

上伊那保健体育研究会 会長 太田 聖尚 (駒ヶ根市立東伊那小学校)